

令和7年度第1回委員会 会議要旨

令和7年6月10日（火）10：30～11：30

アピオあおもり 2階 大研修室2

1 会長あいさつ

2 新任役員と事務局員の紹介

新任役員：青森県中学校長会 研究委員長 佐藤 研 委員
青森県高等学校長協会 生徒指導委員会委員 伊藤 良輔
事務局員：事務局長 葛西 広和 県民活躍推進課長
事務局次長 夏井 裕之 県民活躍推進課長代理
事務局員 福沢 裕子 主事

3 議事

議題（1） 議案第1号 令和6年度事業報告 議案第2号 令和6年度収支決算報告

事務局から説明。

・監査報告

齋藤監事から、青少年育成青森県民会議規約第7条第5項の規定に基づき、令和6年度の会計及び会務執行の状況を監査した結果、その内容は適正であると認めるとの報告。

・協議

異議なし → 原案どおりで委員会承認

議題（2） 議案第3号 令和7年度活動方針・重点目標・事業計画 議案第4号 令和7年度収支予算（案）

事務局から説明。

・質疑応答

（伊藤副会長）

予算の支出の部、事務費とかが去年よりずいぶん少ない。会員加入促進費は今年の計上はないのか。

（事務局）

事務費が減っているのは、昨年度までは、会費を振り込まれる際の手数料を予算計上していたが、今年度からは心苦しいが、会員の方々に手数料を負担していただく事になったので、そのため事務費が減った。会員加入促進費として2万円と計上していたものが、会費の振込手数料がかなりの金額を締めていて、2万円では賄うことができず、2万円を超えた分は、事務費より賄っていた。今年度からは、振込手数料は会員に負担してもらうことになったので、会員加入促進費をなくし、振込手数料が減るので、本来の事務費を計上した。

(大坂委員)

昨年、家庭の日の支出が 532,070 円となっているが、令和 7 年度の予算が 44,000 円となっていて、かなり減額されております。そちらの説明をお願いしたい。

(事務局)

事業をなくしたわけではなく、昨年同様の予定でいる。昨年やっていた家庭の日の運動の経費は今年度は、地域活動促進事業費として大部分が計上されている。

・協議

異議なし → 原案どおりで委員会承認

議題（３） 60 周年記念事業について

事務局次長から説明。

(事務局次長)

設立 60 周年記念事業案については、1 つは記念講演、1 つは記念誌の作成を考えている。予算については、寄付金の 100 万円をいただいているので、寄付金を活用し、53 万円余りを計上し、皆様の了承を得て、この後総会で決定したいと考えている。

・協議

異議なし → 原案どおりで委員会承認

議題（４） 議案第 6 号 役員の選任について

事務局長から説明。

(事務局長)

・青少年育成青森県民会議規約第 8 条第 1 項により、会長、副会長及び監事は総会において選任することになっている。

・昨年橋本会長より退任の意向を示されたことから、後任者には、青森市の三戸延聖氏を次期会長候補として推薦する。

・昨年お亡くなりになられた元副会長 工藤鉄藏さんの後任として、黒石市青少年相談センター指導員の宇野正毅氏を推薦する。

・以上から、新会長 三戸延聖、副会長 杉間修一、菊池三千郎、佐藤やえ、浮木隆、伊藤美穂子、三上宗一郎、奥瀬金蔵の再任 7 名、宇野正毅の新任 1 名、監事は齋藤三千義、大柳雅一の 2 名とすることが事務局案である。

(会長)

三戸氏は、知事との教育改革との場面でも柔軟に発言され、広く物事を捉えていて、県民会議をこれからリードし、皆様と一緒に作り上げていくのにふさわしい人物である。

・協議

異議なし → 原案どおりで委員会承認